

目次

1. 日本美術院との関連
 - (1) 安田靉彦と良寛
 - (2) 日本美術院の画家と良寛
2. 長岡駅構内
3. 新潟・和島ほか
4. 書さまざま～ いろはと一二三
5. 堀口家と美術の繋がり

1. 日本美術院との関連

(1) 安田靉彦と良寛

安田 靉彦(やすだ ゆきひこ、本名:安田 新三郎)

1884年(明治17年)2月16日 - 1978年(昭和53年)4月29日)

大正～昭和期の日本画家、能書家。東京府出身。

文化勲章(1948年)、文化功労者(1951年)

靉彦は前田青邨と並ぶ歴史画の大家で、青邨とともに焼損した法隆寺金堂壁画の模写にも携わった。

「飛鳥の春の額田王」「黎明富士」「窓」はそれぞれ1981年、1986年、1996年に切手に用いられた。

良寛の書の研究家としても知られ、良寛の生地新潟県出雲崎町に良寛堂を設計した。また靉彦自らは皇居新宮殿千草の間に書、『万葉の秀歌』を揮毫した。

(2) 日本美術院の画家と良寛

前田青邨(1885 - 1977,文化勲章1955)と、

堀口大学(1892 - 1981,文化勲章1979)は盃を交わすこともあったでしょう。

小林古径(1883 - 1957,文化勲章1957) 新潟・高田の生まれ。

住居は高田公園内に移築され、県立美術館のひとつとなっています。

安田靉彦(1884 - 1978,文化勲章1948)

良寛に画をとった日本画家 ～出雲崎・良寛記念館



1 小林古径 玉島の修行時代 2 安田靉彦 良寛と貞心尼 (初対面の図) 3 郷倉千靱 筍を慈しむ

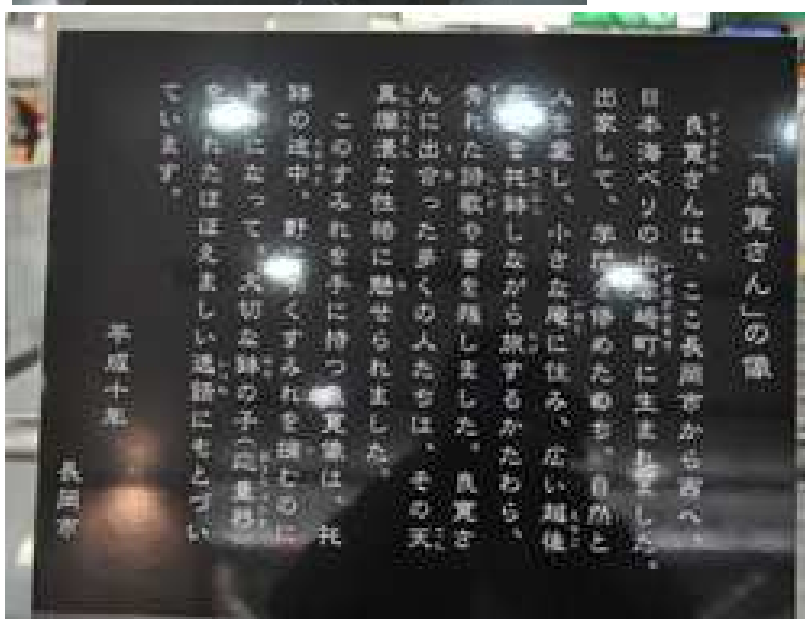
2. 長岡駅構内

長岡、及び周辺の市町村は、あちこちに良寛さんの像を見ることができる、「良寛の町」でもあります。まず最初に、長岡駅構内の良寛像。



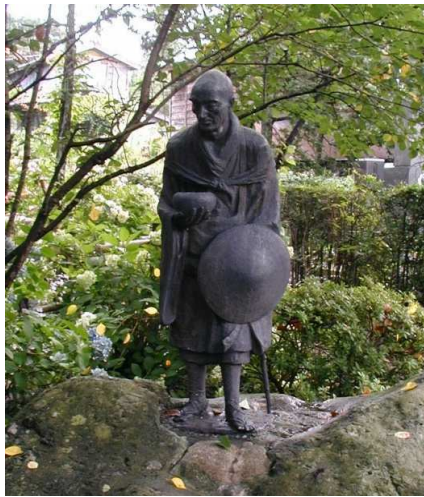
長岡駅構内に等身大の良寛像

「道のべに菫摘みつつ鉢の子を
忘れてぞ来しその鉢の子を」
この詩の石碑のオリジナルは、県内の
燕市国上の朝日山公園内にあります。



長岡駅構内に等身大の良寛像があります。制作者は元井達夫氏です。
千秋ヶ原の『米百俵群像』制作してグループのお一人です

3. 新潟・和島ほか



長岡市隆泉寺の良寛像



心月輪 木刻

この40cmほどの丸い板に書かれた書は、良寛さんの書として、よく知られています。(新潟県分水町の解良家)

心中に満月を思い浮かべ、呼吸を整えながら、月と自分の心を一体化させるという真言密教の修法に由来することばです。

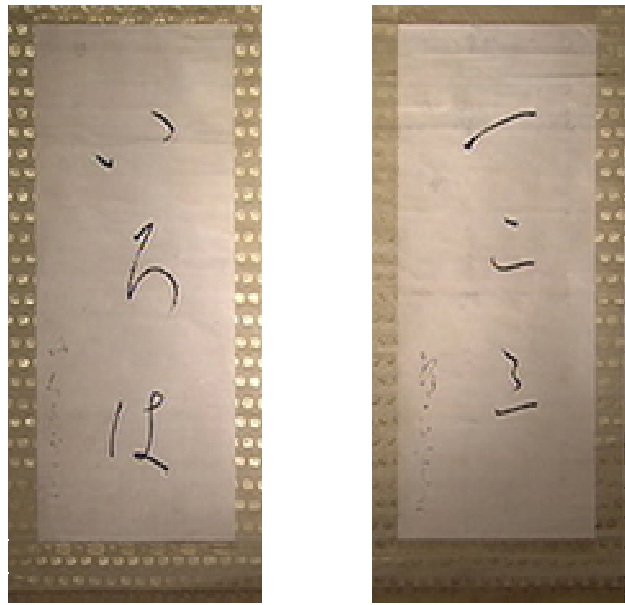
心月輪 ～心、月輪のごとし。と読むこともできます。

Pure heart like a shiny moon



「平成23年度全国良寛会総会」にあわせて新潟市の西大畑公園(市立美術館向かい)に平成23年5月21日に建立されました。表情のとてもやさしい良寛様です。(像の制作者は峰村哲也さん)

4. 書さまざま～ いろはと一二三



良寛の書は、地元の人びとの間で、大切に伝えられてきました。
托鉢で近くの農家や支援者宅を訪れた良寛が、
書き残したという名品も、多数あります。

以下は、NHK美の壺のバックナンバーより抜粋しました。

<https://www.nhk.or.jp/tsubo/arc-20060505.html>

「私たちにも読める文字を書いてください」

そんな村人のリクエストに答えて、玄関先でさらさらと書いたのが、この二つ。

まず、「いろは」。これなら誰にでも分かりますよね。

ひらがなの曲線の美しさ、そしてあたたかさが印象的です。

そして、もう一方は、数字の一二三(ひふみ)。

合わせて6本の横棒が引かれているだけ。しかし、どの一本も同じではなく、全体として、見ごたえのある作品になっています。

良寛の書・鑑賞の一のツボ。「すべてをかなのように書く」。

～ 私個人としても、この各文字の間隔、傾きは、絶妙に思います。

大勢の方にとっても、One of the best arrangements だと
感じられるのではないのでしょうか。

間隔、傾きをいくつか替えたバリエーションをコンピュータを利用して
作り、大勢の人に見てもらって、「作品」の感覚的受容度の評価をして
もらったら、きっと、これが上位にランクされるように思います。

視覚に関するV1領域の脳皮質

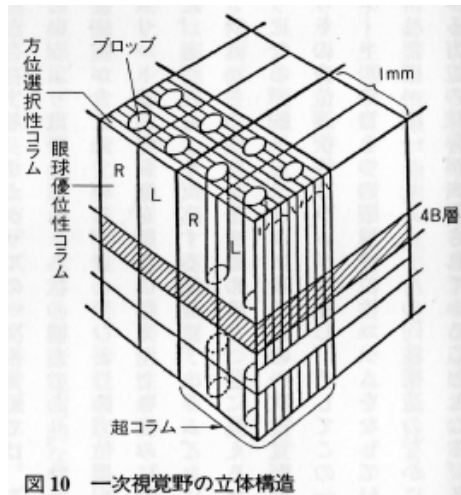
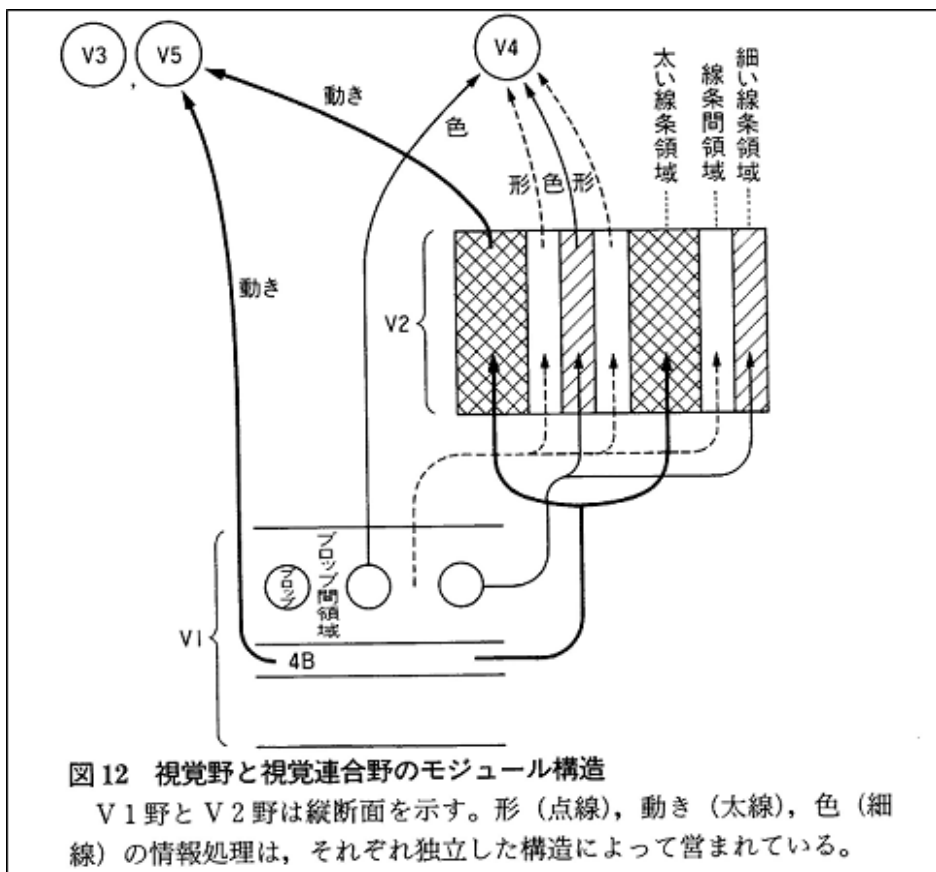


図10 一次視覚野の立体構造

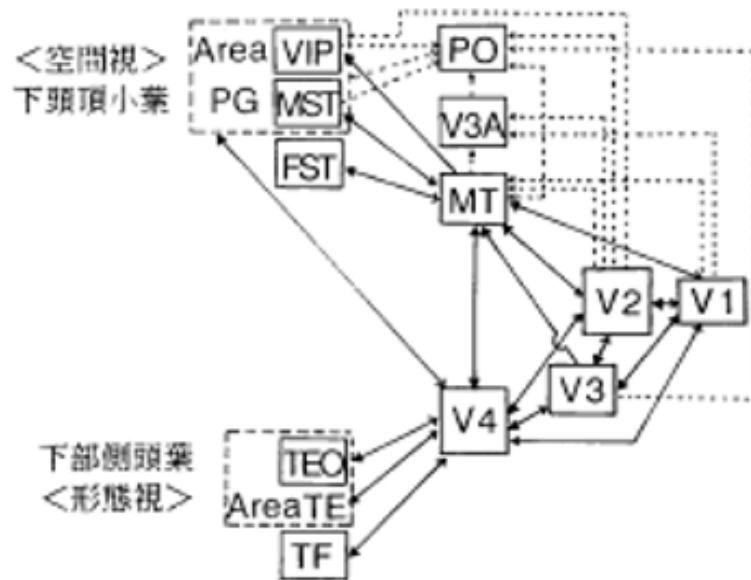
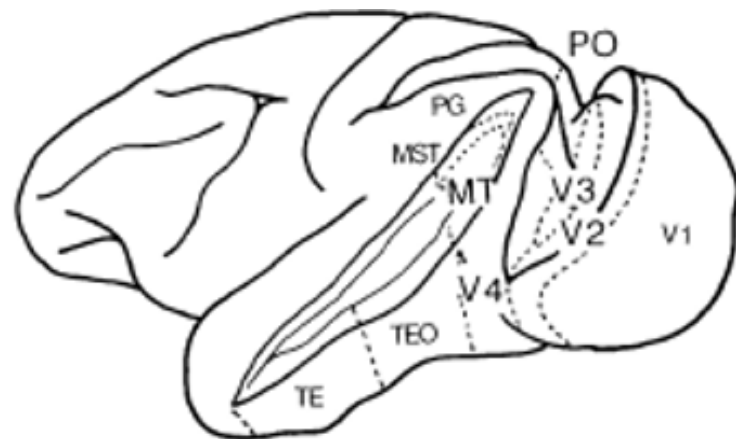
モジュール構造

コラム 輪郭の把握
 プロップ 色 (錯体細胞から)
 層 4B層は動きの把握

各視覚野の連携



V1 ---> V2 ---> V3 --> PG	空間識別
MT ---> MST	運動視
V1 ---> V2 ---> V4 --> IT	物体識別
V1 ---> V4	色の識別



V1 ---> V2 ---> V3 --> PG	空間識別
MT ---> MST	運動視
V1 ---> V2 ---> V4 --> IT	物体識別
V1 ---> V4	色の識別

5. 堀口家と美術の繋がり（シルクロード・ストーリー）

文化史的小説の敦煌物語を書いた松岡譲は、画家としても、味わい深い多くの絵画作品を残しています。（長岡市 郷土史料館蔵）

良寛の漢詩をしたためた書も、残しています。（長岡市立図書館蔵）

そんなことから（シルクロードを共通のワードとして、関係者の図を作ってみました。プライベートな話題でしょうが、二、三十分はお話してできるように思います。

安田靉彦、前田青邨、小林古徑の三人は、新潟と縁がありました。

秋山光和の妻が、堀口大學の妹の花枝さん。

大學、花枝は、長岡で少年少女時代を過ごしました。

秋山光夫氏と花枝さんの子供さんの秋山光和氏は、美術史・美術評論で知られていますが、奥様は、前田青邨の三女・日出子さん。

「長岡とシルクロード・ストーリー」より

